

再計算「納得できず」

大飯原発

基準地震動 島崎前委員長が規制委批判

関西電力大飯原発

(福井県)の基準地震

動(考慮される地震の

最大の揺れ)が過小評

価された可能性を指摘

している前原子力規制

委員会委員長代理で地

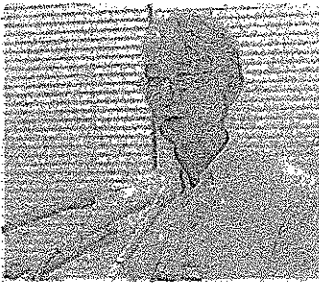
震学者の島崎邦彦氏は

15日、東京都内で記者

会見し、規制委が行っ

た再計算結果について

「納得していない。おか



会見する島崎邦彦氏
15日、東京都内

しい」と批判しました。

規制委は13日の定例

会合で、再計算で得ら

れた値は、関電が想定

し審査で認めた値の範

囲内に収まり、再稼働

の前提となる基準地震

動は過小評価ではない

と結論づけました。

田中俊一委員長は同

日の記者会見で、計算

結果を島崎氏に説明し

「結果を見て非常に安

心したと言っていたと

いう報告をいただいた

た」と述べています

た。しかし、この会見

について島崎氏は「誤

解している」として、

「規制委の議論と結論

は納得できません」と

する文書を規制委に送

付していました。

会見で島崎氏は、関

電が設定した同じ条件

下で過小評価される可

能性のある計算式を使

わずに基準地震動を見

直すならば、関電が想

定した856ガル(ガル

は揺れの強さを表す加

速度の単位)を大幅に

上回ると説明。最大で

1550ガルになると推

定し、規制委の再計算

のやり方には問題があ

ると指摘しました。「現

在の基準地震動が過小

評価されているのは間

違いない」と主張し、

再計算すべきだとしま

規制委は15日、田中

委員長と島崎氏が19日

に面談すると発表しま

した。